個人 3

受付	令和 5 年 6 月 7 日 (午前)・午後 9 時 00 分

一般質問（代表・(個人)）通告書

令和5年6月7日

尾張旭市議会議長　殿

氏　名　櫻　井　直　樹

尾張旭市議会会議規則第５０条第１項の規定により６月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1　質問事項　　2　件

2　質問方法

	１回目　一括質問、一括答弁 再質問以降　質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	１回目から　質問事項（大項目）ごとに一問一答

選択する方法に○を付す。

尾張旭市議会 受付 -5.6.-7 第一号

別紙　　氏　名　櫻井　直樹

質　問　事　項 No.　1	子育て世代を支援するための施設拡充について
要旨	本市のまちづくりを考えたときに、子育て世代を本市に呼び込むための施策は、とても重要視されています。 子育て世代に人気のある施設として、城山公園のスカイパークがあります。 休日には、たくさんの若い家族連れが訪れ、小さな子どもたちが元気に遊び回っています。家族の微笑ましい姿を見ると、みんなが幸せそうで、このような施設がもっと増えれば、子育て世代の支援につながると考えます。 そこで、子育て世代を支援するための施設拡充について、以下の４点について答弁を求めます。 （１）スカイパークが建設された経緯について 高額な費用をかけて建設されたスカイパークは、どのような経緯で建設されたのか伺います。 （２）屋内の遊具施設について スカイパークのような屋外遊具施設と同様に、屋内にも子どもが遊べる遊具施設があると、子育て世代の家族は喜ばれると思います。他市には、公共施設の内装改修工事だけを行い、子ども屋内遊び場を開設している自治体もあります。 そこで、子育て世代を本市に呼び込むために、屋内遊具施設の設置について考え方を伺います。 （３）保育園の待機児童について 子どもを保育園に預け、夫婦が共働きしている家族が、年度途中に本市に転入する場合、子どもが入る保育園が決まらずに、困っているという事例を聞きます。 そこで、保育園の待機児童の現状について伺います。 （４）保育施設の拡充について 国は、親の就労時間を問わず、誰でも時間単位で保育園を利用できるようにする「こども誰でも通園制度」を提示しました。待機児童問題の解消のためには、保育施設の拡充が必要だと考えます。 そこで、今後、どのように対応していくのか伺います。

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　櫻井　直樹

質　問　事　項 No.　2	自転車通学の安全指導について
要旨	昨年度、市道巡検道線の自転車通行空間整備工事が行われました。 中学生や高校生の通学路として自転車利用の多い区間である市道巡検道線において、道路利用者の交通安全を図ることを目的とした整備工事です。この整備工事も、中高生の子育て世代を支援するための施設拡充と捉えることができます。 自転車通学の中学生が、安全に登下校するために、自転車通行空間がどのように活用されているのか、安全指導について次の３点について答弁を求めます。 （１）自転車通行空間の利用状況について 自転車通行空間は、自転車の安全走行のために役立っていますが、どれくらいの中学生が利用しているのか伺います。 （２）生徒たちへの安全指導について 自転車は軽車両であり、車道を左側走行することが原則になっています。 しかし、車道を走ることに不安を感じている生徒もいると思います。 安全な自転車通学のために、どのような指導をしているのか伺います。 （３）荷物の軽量化について 自転車操作の安全上、自転車の前カゴに入れる荷物の軽量化が大切だと思います。生徒たちの荷物の軽量化について、どのような取組をしているのか伺います。

※　申し合わせ事項に留意する。